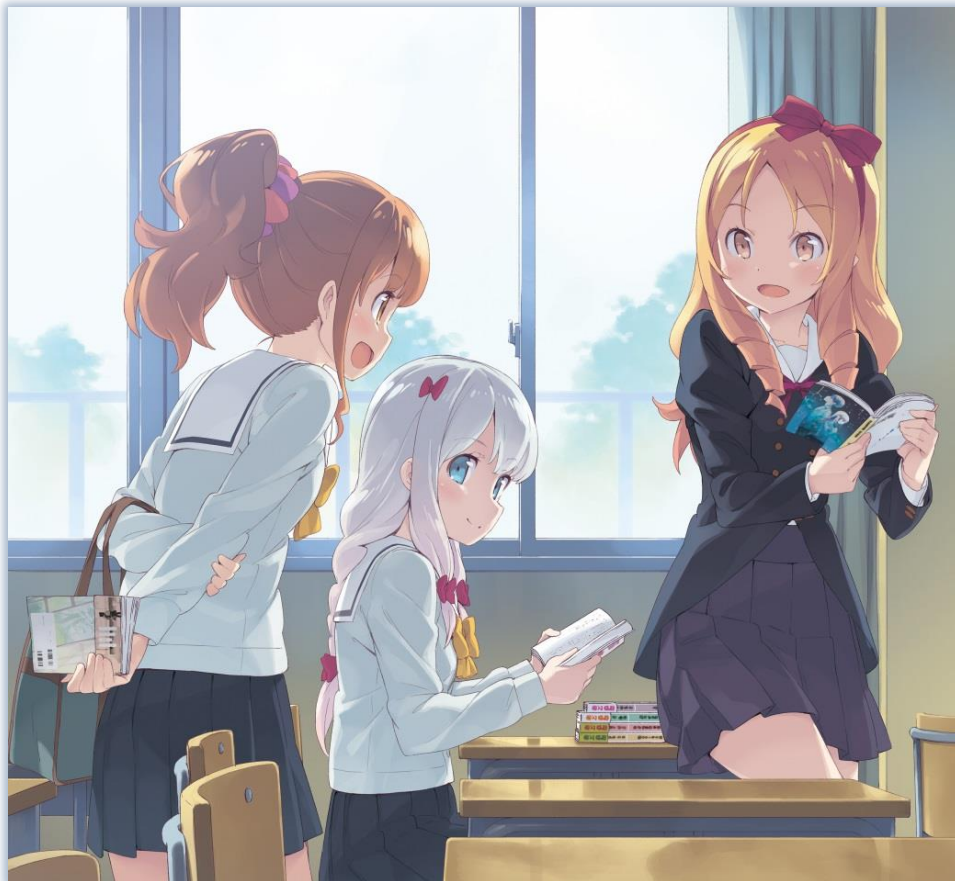


# エンターテインメント界最大規模の公募新人賞 「第24回電撃大賞」 応募受付スタート！

## < 全部門でウェブ応募に対応 >

株式会社KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹)アスキー・メディアワークスが、次代を創造するエンターテイナーの発掘・育成を目的に主催しております「電撃大賞」では、本日、5月10日(火)より第24回となる作品応募の受付を開始いたしました。応募期間は来年2017年4月10日(郵送応募は当日消印有効)までの11カ月間となります。なお、第23回より全部門で、従来の郵送応募に加え、ウェブ応募が可能となりました。



第24回電撃大賞イメージイラスト イラスト/かんざきひろ 電撃文庫『エロマンガ先生』(著/伏見つかさ)

「電撃大賞」は1993年、作家・イラストレーターの新人登竜門「電撃ゲーム3大賞」としてスタート、第12回(2004年度募集)より「電撃大賞」に改称されました。

小説部門の「電撃小説大賞」からは多くの人気作家を輩出し、『ブギーポップは笑わない』(著/上遠野浩平・第4回大賞)、『灼眼のシャナ』(著/高橋弥七郎・第8回選考委員奨励賞)、『図書館戦争』シリーズ(著/有川 浩・第10回大賞)、『境界線上のホライゾン』(著/川上 稔・第3回金賞)、『狼と香辛料』(著/支倉凍砂・第12回銀賞)、『神様のメモ帳』(著/杉井 光・第12回銀賞)、『ロウきゅーぶ!』(著/蒼山サ

グ・第15回銀賞)、『はたらく魔王さま!』(著/和ヶ原聡司・第17回銀賞)、『ゼロから始める魔法の書』(著/虎走かける・第20回大賞)、『ちょっと今から仕事やめてくる』(著/北川恵海・第21回メディアワークス文庫賞)などの人気作品が生まれてきました。直近の受賞作『ただ、それだけでよかったんです』(著/松村涼哉・第22回大賞)なども好評を博しております。多くの作品が小説だけに留まらず、アニメ、コミック、実写映画、ゲーム、舞台など、さまざまなメディア展開を行っており、2016年度は『ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った?』(著/聴猫芝居・第18回金賞)が4月よりTVアニメ放送開始のほか、『アクセル・ワールド』(著/川原 礫・第15回大賞)の新作アニメが7月より劇場公開、『ソードアート・オンライン』(著/川原 礫)の劇場版アニメ制作も決定しております。

イラスト部門の「電撃イラスト大賞」受賞者も文庫のイラストなどを多数手がけており、単行本『図書館戦争』(著/有川 浩・第10回大賞、イラスト/徒花スクモ・第10回金賞)、メディアワークス文庫『ビブリア古書堂の事件手帖』(著/三上 延、イラスト/越島はぐ・第15回銀賞)、電撃文庫『最強をこじらせたレベルカンスト剣聖女ベアトリーチェの弱点 その名は『ぶーぶー』』(著/鎌池和馬、イラスト/真早・第17回金賞)、『ねじ巻き精霊戦記 天鏡のアルデラミン』(著/宇野朴人、イラスト/竜徹・第18回銀賞、キャラクター原案/さんば挿)、『レオ・アッティール伝』(著/杉原智則、イラスト/岡谷・第21回金賞)、メディアワークス文庫『心理コンサルタント才希と心の迷宮』(著/似鳥航一、イラスト/三村勇貴・第18回大賞)、『博多豚骨ラーメンズ』(著/木崎ちあき・第20回大賞、イラスト/一色 箱・第20回大賞)など、目覚ましい活躍を見せております。

コミック部門の「電撃コミック大賞」は、第21回電撃大賞から設置された部門です。第21回受賞者は電撃のコミック各誌で活躍しております。月刊コミック電撃大王では『やがて君になる』(仲谷 鳩・第21回金賞)、『ちゅうふれ。』(きあま紀一・第21回銀賞)の2作品が連載中、単行本コミックスも刊行しております。電撃マオウでは『ゼロから始める魔法の書 なの!』(作画/安岳・第21回銀賞)が連載中です。

アスキー・メディアワークスでは、電撃小説大賞において入賞した作品はもちろん、惜しくも選に漏れた作品の中からも、電撃文庫、メディアワークス文庫などで書籍化しており、これまで数多くの人気作品を刊行、人気作家を育ててまいりました。電撃イラスト大賞からも人気イラストレーターが多数誕生し、カバーイラストなどで活躍しております。電撃コミック大賞からも、多くのコミック作家が誕生しており、電撃のコミック各誌で活躍中です。今後も、本大賞は新しい時代のエンターテイナーの登竜門として、さらに幅広い才能の発掘を目指し努力してまいります。

## ■「第24回電撃大賞」主な応募要項

### ●応募ジャンル:

- 電撃小説大賞(小説部門)
- 電撃イラスト大賞(イラスト部門)
- 電撃コミック大賞(コミック部門)

### ●賞(小説・イラスト・コミック部門共通):

- 大賞=正賞+副賞 300万円
- 金賞=正賞+副賞 100万円
- 銀賞=正賞+副賞 50万円

<小説部門のみ>

- メディアワークス文庫賞=正賞+副賞 100万円
- 電撃文庫MAGAZINE賞=正賞+副賞 30万円

### ●最終締め切り: 2017年4月10日(当日消印有効)

### ●応募方法: 郵送(応募締め切り当日の消印有効)

もしくは「電撃大賞」公式サイト掲載の応募フォームよりウェブ応募

### ●選考方法:

締め切り後、小説部門は1次~4次、イラスト・コミック部門は1~3次の選考を行い、最終候補作を選出。2017年9月に、最終選考委員により大賞および各賞の受賞作品を決定。



↑ 第24回電撃大賞ロゴ

## 【電撃小説大賞】(小説部門)

### 募集内容:

オリジナルの長編および短編小説。ファンタジー、SF、ミステリー、恋愛、歴史、ホラーほかジャンルを問わず。未発表の日本語で書かれた作品に限る(他の公募に応募中の作品も不可)。

### 選考委員(敬称略):

高畑京一郎(作家)、時雨沢恵一(作家)、佐藤竜雄(アニメーション演出家)、佐藤辰男(カドカワ株式会社 代表取締役会長)、鈴木一智(株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス事業局 統括部長)、和田 敦(電撃文庫編集長、文庫プロデュース課編集長)、佐藤達郎(メディアワークス文庫編集長)

## 【電撃イラスト大賞】(イラスト部門)

募集内容: 未発表(他の公募に応募中の作品も不可)のオリジナル作品。

### 選考委員(敬称略):

天野喜孝(画家、イラストレーター)、出渕 裕(デザイナー、イラストレーター、アニメーション監督)、衣谷 遊(漫画家)、緒方剛志(イラストレーター)、いとうのいぢ(イラストレーター、ゲーム原画家)、湯浅隆明(電撃文庫編集長代理、電撃文庫MAGAZINE副編集長)

## 【電撃コミック大賞】(コミック部門)

### 募集内容:

#### ◆少年マンガ作品

10代から20代の男性読者を想定としたオリジナルコミックを募集。ファンタジー、SF、ミステリー、恋愛、歴史、ホラーほかジャンルを問わず。未発表の日本語で書かれた作品に限る(他の公募に応募中の作品も不可)。

#### ◆少女マンガ作品

10代から20代の女性読者を想定としたオリジナルコミックを募集。ファンタジー、SF、ミステリー、恋愛、歴史、ホラーほかジャンルを問わず。未発表の日本語で書かれた作品に限る(他の公募に応募中の作品も不可)。

#### ◆コミカライズ作品

電撃文庫・メディアワークス文庫・シルフコミックスを課題作品としてコミック化した作品。

範囲の指定はないので、別紙または原稿の裏面に描いた課題作品のタイトル(サブタイトルも含む)、巻数、該当ページ範囲を必ず記入。

#### <課題作品一覧>

電撃文庫『エロマンガ先生』著:伏見つかさ

電撃文庫『キノの旅 the Beautiful World』著:時雨沢恵一

電撃文庫『ソードアート・オンライン』著:川原 礫

電撃文庫『デュラララ!!』著:成田良悟

電撃文庫『とある魔術の禁書目録』※新約も含む 著:鎌池和馬

電撃文庫『ねじ巻き精霊戦記 天鏡のアルデラミン』著:宇野朴人

電撃文庫『ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った?』著:聴猫芝居

電撃文庫『魔法科高校の劣等生』著:佐島 勤

メディアワークス文庫『探偵・日暮旅人』シリーズ 著:山口幸三郎

メディアワークス文庫『「ビブリア古書堂の事件手帖」』著:三上 延

シルフコミックス『フォルティッシモ』

イラスト:ウダジョ、シナリオ:ハラダサヤカ、企画・原案:叶瀬あつこ

シルフコミックス『BROTHERS CONFLICT』※2nd SEASONを含む。

イラスト:ウダジョ、シナリオ:水野隆志(エム・ツー)、企画・原案:叶瀬あつこ

#### ◆コミック原作作品

オリジナルコミック作品の原作を募集。絵コンテ(ネーム形式)またはテキスト(脚本形式)による応募。未発表の日本語で書かれた作品に限る(他の公募に応募中の作品も不可)。

## 選考委員(敬称略):

高河ゆん(漫画家)、綱島志朗(漫画家)、大河内一楼(アニメーション脚本家)、  
芝村裕吏(ゲームデザイナー、小説家)、鈴木一智(株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス事業局 統括部長)、梅澤 淳(株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス事業局 第1編集部 担当部長)

電撃大賞公式サイト: <http://dengekitaisho.jp/>  
電撃大賞公式Twitterアカウント: @dengeki\_taisho

## <ご参考>

### ■「電撃文庫」とは

1993年6月創刊の文庫レーベル。「電撃文庫」ではこれまで、ファンタジー、SF、ミステリー、ホラー、ラブコメなど、ジャンルを問わないオリジナルなエンターテインメント作品を刊行してまいりました。『とある魔術の禁書目録(インデックス)』(シリーズ累計1,580万部)をはじめ、『灼眼のシャナ』(同860万部)、『キノの旅』(同800万部)、『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』(同500万部)、『アクセル・ワールド』(同450万部)、『ソードアート・オンライン』(同1,210万部)、『はたらく魔王さま!』(同255万部)、『魔法科高校の劣等生』(同700万部)、『デュラララ!!』(同560万部)、『狼と香辛料』(同400万部)など、数多くの大人気シリーズを生み出しています。2016年は『ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った?』(同94万部)が4月よりTVアニメ放送開始のほか、『ねじ巻き精霊戦記 天鏡のアルデラミン』(同42万部)が7月よりTVアニメ放送開始予定、『アクセル・ワールド』新作アニメが7月23日より全国ロードショー予定です。また『ソードアート・オンライン』の劇場版アニメも2017年公開で決定しています。現在活躍中の人気作家の多くは、創刊と同年にスタートした小説・イラスト・コミックの新人登竜門「電撃大賞」より誕生しています。アニメ、コミック、実写映画、ゲーム、音楽、イベントなど、さまざまなメディアミックスも展開。2015年10月にはファンクラブサービス「電撃文庫CLUB」もスタートし、「電撃文庫」は多くの方々に楽しんでいただいております。毎月10日発売。

- 「電撃文庫」公式サイト: <http://dengekibunko.jp/>
- 電撃文庫CLUB: <http://dengekibunko.jp/club/>
- 「電撃文庫」公式Twitterアカウント: @bunko\_dengeki

### ■「電撃文庫MAGAZINE」とは

2008年4月創刊「電撃文庫ファンのための最強エンタテインメントマガジン」。電撃文庫の人気シリーズやアニメ化が決定した作品の情報、人気シリーズの書き下ろし短編などを掲載し、電撃文庫を一層楽しむためのさまざまな企画が詰まった雑誌です。フィギュア、ドラマCD、ポスター、ステーションナリーなど、毎号付く豪華オリジナル付録も人気となっています。偶数月10日発売。

- 「電撃文庫MAGAZINE」公式サイト: <http://dengekibunko.jp/magazine/>

### ■「メディアワークス文庫」とは

2009年12月創刊、アスキー・メディアワークスが贈るエンターテインメント・ノベル。恋愛、ミステリー、歴史など、さまざまなジャンルの小説を刊行しています。メディアワークス文庫からは、『ビブリア古書堂の事件手帖』(著/三上 延、シリーズ累計発行600万部)、『神様の御用人』(著/浅葉なつ、同95万部)、『0能者ミナト』(著/葉山 透、累計発行57万部)、『探偵・日暮旅人』シリーズ(著/山口幸三郎、同50万部)、『オーダーは探偵に』シリーズ(著/近江泉美、同36万部)、『ちょっと今から仕事やめてくる』(著/北川恵海、同40万部)、『お待ちしてます 下町和菓子 栗丸堂』(著/似鳥航一、同37万部)、『絶対城先輩の妖怪学講座』(著/峰守ひろかず、同22万部)などのヒット作品が生まれています。コミック、実写ドラマ化などメディアミックス展開も盛んで、幅広い層の方々に楽しんでいただいております。毎月25日発売。

- 「メディアワークス文庫」公式サイト: <http://mwbunko.com/>
- 「メディアワークス文庫」公式Twitterアカウント: @mwbunko

## ■電撃ブランドのコミックについて

電撃ブランドでは、最強コミックマガジン「月刊コミック電撃大王」(毎月27日発売)を中心に、4コマ&ギャグ専門の「コミック電撃だいおうじ」(毎月27日頃発売)、ゲーム・コミック誌「電撃マオウ」(毎月27日発売)、女性向けの「シルフ」(毎月22日発売)など、複数のコミック誌を展開しております。「電撃コミック大賞」の前身「電撃コミックグランプリ」やコミック各誌が行っている新人賞の受賞者は、オリジナル作品やゲーム・アニメなどのコミカライズ作品を手掛け、「電撃コミックス」(毎月27日発売)、「電撃コミックスNEXT」(毎月10日・27日発売)、「電撃コミックスEX」(毎月27日発売)、「シルフコミックス」(毎月22日発売)などのコミックスレーベルから多数発売されています。また、2016年は7月より『この美術部には問題がある!』(作/いみぎみる、電撃マオウ連載)がTVアニメ放送開始予定など、メディアミックス展開も行っております。

- 電撃コミックWEB: <http://dc.dengeki.com/>

## ■アスキー・メディアワークスとは

アスキー・メディアワークスは、小説、コミック、ゲーム、ホビーなど、エンターテインメント分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

- KADOKAWAオフィシャルサイト: <http://www.kadokawa.co.jp/>
- アスキー・メディアワークス公式サイト: <http://asciiw.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社KADOKAWA  
アスキー・メディアワークス  
<http://asciiw.jp/>